

## 新 除 草 ・ 調 節 剤

### スミセブン<sup>\*</sup>液剤 ウニコナゾール液剤

(取扱メーカー) 山本農薬株式会社

対象作物・効果：鉢物花きの矮化と着蕾増加。

成分・作用特性：本剤は、(E)－(RS)－1－(4－クロロフェニル)－4,4－ジメチル－2－(1H－1,2,4－トリアゾール－1－イル)－1－ペンテン－3－オール……ウニコナゾールを0.05%含有する無色透明な水溶性の液体である。

本剤は、植物体の茎葉部および根部より吸収されて、主にジベレリンの生合成を阻害し、効果を発現する。

特徴：現在の登録作物は表の通りであるが、アジサイ鉢物の草姿改良、宿根カスミソウ・ストックなどの切花の品質向上、生垣の刈込みの労力軽減等の試験が実施されている。

処理方法としては、茎葉散布、土壌灌注などがあげられるが、特徴的な反応として次の例があげられる。本剤は、処理濃度の差による反応の変化が従来の矮化剤より大きく、ツツジ・シャクナゲ・ツバキ等に50ppmの高濃度処理を行った場合、処理の翌年にも矮化および着蕾増加効果が認められる。さらに、高濃度の試験では、数年間効果が持続した例もある。ポットマムやポインセチアでも、高薬量では葉縁の枯れ込みや葉の縮み、極端な矮化を示した例も認められる。

薬剤は、植物体の上方に移行し、下方にはほとんど移行しない。したがって、枝処理を行なえば他の枝には影響をあたえず、目的部位だけ

を短縮させることもできる。なお、本剤は栽培管理等の違いにより、同一処理を実施しても、結果が同一にならない場合がある。

毒性：急性経口毒性値(LD<sub>50</sub>)は、マウス雄4000mg/kg、雌2850mg/kgで普通物である。魚毒性はB類である。

使用方法：今回登録となった使用基準は、次表に掲げる通りである。

| 作物名            | 使用目的                | 使用時期    | 希釈倍数    | 使用量                         | 使用方法 |
|----------------|---------------------|---------|---------|-----------------------------|------|
| きく(ポットマム)      | 節間の伸長抑制(矮化)         | 摘芯10日後頃 | 25～50倍  | 5～10mℓ/5号鉢(原液0.1～0.2mℓ/5号鉢) | 茎葉散布 |
|                |                     |         | 50～100倍 | 50～100mℓ/5号鉢(原液1mℓ/5号鉢)     | 土壌灌注 |
| ポインセチア         |                     |         | 15～25倍  | 5～10mℓ/5号鉢(原液0.3～0.5mℓ/5号鉢) | 茎葉散布 |
| ツツジ・シャクナゲ(鉢栽培) | 節間の伸長抑制(矮化)および着蕾数増加 | 新梢伸長初期  | 15～20倍  | 5～10mℓ/5号鉢(原液0.3～0.5mℓ/5号鉢) | 茎葉散布 |

使用上の注意：①散布する場合、植物体全体とくに新葉部には均一にかけること。また、周辺の作物にはかからないように注意する。②灌注する場合、土壌水分に注意し、過湿状態の時は使用しない。③個々の栽培条件に合った処理薬量を確認してから使用する。初めて使用する場合は、農業技術者等の指導を受けること。④栽培管理が不適当な場合、期待する効果が得られないことがある。⑤本剤は比較的に残効性が長く、特に土壌処理の場合、後作物に影響が出ることがあるので注意する。